

Tata Consultancy Services 主催 グローバル・コーディング・コンテスト CodeVita シーズンVI- 開催案内

はじめに

タタコンサルタンシーサービシズ(TCS)が主催するグローバル・コーディング・コンテストCodeVitaは、今年で6年目となります。当コンテストは、2012年に*Programming-As-A-Sport*の推進を目的として始まり、以来多くのマイルストーンを重ねてきました。2014年にはインド国外にも対象を広げ、昨年は世界40カ国以上から約261,000名の参加登録がありました。今年はより一層チャレンジングで、エキサイティングなシーズンになることを目指しています。

目的

技術にどの程度精通しているかということが、わたしたちの人生に大きな影響を及ぼし始めています。高い競争力を維持し、常に変化するデジタル世界に適応するために、コンピュータ言語を学ぶことは賢明な選択です。プログラミングは新しい数学と言ってもよいでしょう。当コンテストの主な目的は、参加者のプログラミングスキルを、実践を通して研ぎ澄ますことにあります。

構成

当コンテストは個人戦です。予選と本選の2ラウンドで構成されています。

さらに、MockVitaという演習ラウンドも用意されており、参加者が予選ラウンドの準備する際に役立つでしょう。

※CodeVitaにエントリーした方は、以下の時間帯のうち6時間に限りMockVitaを利用することができます。

- ・2017年10月20日(金)午後11時半～23日(月)午前11時半(日本時間)
- ・2017年10月27日(金)午後11時半～30日(月)午前11時半(日本時間) 追加
- ・2017年11月03日(金)午後11時半～06日(月)午前11時半(日本時間) 追加

オンライン予選:

当コンテストの最初のラウンドです。参加者には6問のプログラミング問題が与えられ、最初の問題をスタートしてから6時間以内に全問題に解答することが求められます。

- ・2017年11月25日(土)午後2時30分～26日(日)午後2時30分(日本時間)

本選:

グローバル・プログラミング・ベンチマークにより、予選上位 15～20 名がインドの TCS オフィスで開催される本選に招待されます。(2018年2月or3月予定)

※旅費及び現地宿泊費は TCS が全て負担します。

賞金:

優勝者には10,000米ドル、2位には7,000米ドル、3位には3,000米ドルが送られます。

エントリー資格

大学院・大学・高等専門学校に在籍し、理学系/工学系の学科を専攻する学生(全学年対象)

エントリー方法

- ・ www.tcscodevita.com のRegistration Formに必要事項を入力しエントリーしてください。
- ・ エントリーの締切りは、2017年11月22日(水)午後11時59分(日本時間)です。

当コンテストは世界中の大学生・大学院生を対象としています。エントリーしたすべての学生がオンライン予選に参加できます。本選への進出が決まった参加者は、エントリー時に入力した学術機関に学生として所属していることを証明するため、TCSからの指示に従って以下のいずれかの証明書を提出していただきます。

- ・ 大学IDカード または 在学証明書

一般的なガイドライン

・コードのコンパイルや解釈に必要なインフラストラクチャ/ソフトウェアは、個人または個人が代表する学術機関が負担するものとします。TCSは、参加者によって引き起こされる学術機関のインフラストラクチャに対するいかなる損害についても責任を負いません

・言語コンパイラ/インタプリタは、インターネットからダウンロード可能なオープンソース・アプリケーションです。参加者には問題毎にソースコードを提出していただきます。(Java で書かれたコードは拡張子.java で提出)

・当コンテストは9つの言語に対応しています。
言語名と対応コンパイラ/インタプリタのバージョンは、以下の表の通りです。

言語 & コンパイラ バージョンリスト	コンパイラ / インタプリタバージョン
C	gcc 5.3.1
C++	g++ 5.3.1
C#	mono 5.0.1.1
Java	Oracle JDK 1.7, Oracle JDK 1.8
JavaScript	Google D8 Engine 3.14
Perl	5.16
PHP	5.4.16
Python	Python2 2.7.5, Python3 3.6
Ruby	2.4.1

補償

参加者は、以下により生じる一切の損害、損失、および費用について、TCS(タタコンサルタンシーサービシズ)を完全に補償し、免責するものとします。

- ・ 参加者が当コンテストの同意書に違反した場合。
- ・ 参加者の提出したソースコードが、第三者の権利及び知的財産権を侵害していると賠償請求があった場合